

菅野 敦先生セミナー ダウン症の生涯発達支援

保護者向け・支援者向け



生涯発達支援とは、幼児期・学齢期からの各ライフステージにおいて将来(成人期・壮年期)を見据えて今の支援を考えること・することです。青年期は成人期の、成人期は壮年期の豊かな生活にとって大切な時期です。

今回のセミナーでは、青年期から成人期にかけての様子を整理し、成人期・壮年期に生じることのある発達課題を見据え、その基本的な考え方・支援について考えます。

今年度は支援者向け、保護者向けに分けての2日間のセミナーの開催としました。

会員の皆様、そして日々の生活の中で、ダウン症のある方々をご支援くださっている各関係者の皆様、ぜひそれぞれのセミナーにご参加ください。

より良い支援について考えていただく機会になればと強く願っております。

菅野 敦先生 (東京学芸大学教授・教育実践研究センター)

一貫して知的障害、中でもダウン症候群を対象に、乳幼児期から成人期までの発達特性及び、各ライフステージにおける発達課題の解明、そしてそこから得られた知見をもとに、「生涯発達支援」の視点から具体的な支援内容を明らかにし、その支援のための方法や支援プログラムの研究をしています。

ダウン症に関する著書が多数あります。

●保護者向け 日時 2019年 10月18日(金) 10時 ~ 15時半
(会員無料 会員外 1,000円 ※会員を優先させていただきます)

10時~12時講演 13時~14時半講演 14時半~質疑応答)

●支援者向け 日時 2019年 10月19日(土) 10時 ~ 15時半
(参加無料 10時~12時講演 13時~14時半講演 14時半~質疑応答)

場所 北海道難病センター 3階 大会議室

(札幌市中央区南4条西10丁目) ※公共の交通機関をご利用くださいますようお願い致します。

参加人数 両日とも各80名まで 申込み締切 10月11日(金)(先着順)

主催 北海道小鳩会(ダウン症児・者親の会)札幌分会

お申込み・お問い合わせ等 三好明子 011-573-1051 (申込書は裏面にあります)

講演内容「ダウン症のある方のライフステージに応じた支援を考える」
 ～保護者・支援者 それぞれの視点から～
 将来を見据えて今、それぞれのライフステージで大切にしたいこと
 1. 子どもの遊びと発達ー将来を見据えて今、大切にしたいこと
 2. 困った行動その正体は？
 青年期から成人期の気持ちと行動
 1. 青年期から成人期、ダウン症のある人の気持ちと思い
 2. 青年期から成人期支援の基本的な考え方 など
 まとめ：豊かな生活のために

☆午後の時間帯は、お子さんのお迎え等で途中までしか参加できない方も、時間の許す範囲で、ぜひ午後のセミナーもお聞きください。
 ☆昼食は各自でご用意ください。会場は飲食可です。

菅野先生セミナー申込用紙 FAX送信先 011-573-1051 (三好)

切りとらずにこのままファクスでお申込みください

※ をお付けください

18日(金) 保護者向けセミナー参加 19日(土) 支援者向けセミナー参加

※ 保護者の皆様は、会員、会員外のどちらかに○をおつけください。
 支援者の皆様は、支援者の欄に○をおつけください。

※ セミナー参加者の構成を今回・今後のセミナーの参考とさせていただきたいと思えます。
 差し支えなければ、所属の欄にお書き願います。

保護者の皆様は、お子さんの園名・学校名・通所、勤務先等

支援者の皆様は、ご自身のご職業・職場(施設名、デイサービス名、学校名等)

※ 連絡先  (必ず記入してください)

氏名	所属	保護者	支援者
		会員・会員外	
		会員・会員外	
		会員・会員外	

※ 菅野先生のセミナーの中でお話して欲しい事・質問等ありましたら、お書きください。
 午後の質疑応答の時間で、それぞれの皆さんの日ごろの悩み等話し合えたらと思えます。